

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



願はくは無病息災初日記
 元町 竹内スミエ
 駅前電話ボックス雪明り
 旭町 宝澤 房子
 若雪や小枝をそつと触るるやに
 仲町 玉野 研一
 うす暗き夜明や外は冬の雨
 西原町 児玉久美子
 満天の星ささやきてそぞろ寒
 西岡町 渋谷みさ子
 恙なく善きこと告げん初日の出
 南桜町 宮腰 幸子
 つながるる命を生きて六花
 緑町 池田 良子
 一日を終えて癒しのゆず湯かな
 西町 梅基 文字
 日めくりの残り教えし年の暮れ
 旭町 大河 博子
 通販の正月飾り選びおり
 旭町 大河内清枝
 秋時雨人それぞれの家路かな
 西町 杉浦とし枝

黄蘗の木むく鳥群れて実を散らす
 藤本町 鈴木ゆき子
 代々の母の味継ぐ冬至粥
 西町 高井 孝子
 屑黍を野鳥の餌に吊し置く
 東町 高草木喜代子
 年取りの老い行く宵の賑やかさ
 西岡町 高瀬久美子
 栗飯のあんばい良いと夫の言う
 東町 高橋世津子
 鱈鍋にするに力と技のいる
 西町 文梨 清子
 わくわくと開くおみくじ燈明下
 西町 金澤 頼子
 つくづくと手に齢あり去年今年
 元町 印牧 安子
 雪の朝転ばぬ先の杖を付く
 緑町 齋藤 嘉子
 ただ直に生きて新たな年迎ふ
 仲町 坂部 和子
 年新た親子の会話頼もしく
 元町 西崎 弘子
 お年玉数える孫の笑顔かな
 屯田町 古屋 克江
 一枚の年賀に曾孫福福と
 旭町 大河 茂
 昭和生き平成生きつ年新た
 仲町 芳賀 星子



『ちいさいゆきかき
ブルドーザープラウくん』

ローラ・カーラー/ぶん
 ジェイク・パーカー/え
 福本友美子/やく
 (岩崎書店)

道路管理部に新しく入った、ゆきかきブルドーザーのプラウくん。ちいさいプラウに重たい雪は運べないだろうとみんなに言われてしまい、悔しくて毎晩トレーニングをしていました。おおふぶきの日、ゆきかきに出かけたプラウくんの目の前で、なだれが起こります。



information 絵本の館から

新着図書

- ・こどもノーベル賞新聞 (世界文化社 編)
- ・ほんとうに怖くなれる幽霊の学校 (トビー・イボットソン 著)
- ・死神うどんカフェ1号店 別腹編☆ (石川宏千花 著) ほか

今月のおすすめ絵本



『ひとつぼし』

菊田 まりこ/作・絵
 (学研プラス)

好きなことや、得意なことは人それぞれです。おえかきの時にはユメちゃんのひとつぼしが光り、かけっこ時にはリクくんのひとつぼしが光ります。臆病で弱虫なソラクんのひとつぼしはなかなか光りません・・・ソラクんのひとつぼしはどんな光りでしょうか？